

<三日月大造の国会奮闘記>

日本の「安全と元気」つくる

ハードだけでは限界。 インフラ偏重・依存ではなく、 国民生活の強靱化こそ必要…

11 月に入りました。

菊の花も美しい季節です。まさに「錦秋」へ。大好きな季節です。平素のご厚情とご支援に、心から感謝申し上げます。

「読書の秋」です。

私は、今、佐瀬昌盛氏が書かれた『集团的自衛権』（PHP 新書）、三土修平氏が書かれた『靖国問題の原点』（日本評論社）を読んでいます。ちなみに、私は、「新聞」を読むことも大好きです。毎日、極力、「五紙以上」読むことを心がけています。様々な視点や角度から、政治も、世相もつかんでいきたいと思えます。読書は、活字は、人間に、知識も、夢も、想像も、そして文化をもたらしてくれます。

本日（1 日（金））は、午前中、衆議院「災害対策特別委員会」で質問の機会を頂きました。

9 月、栗東市の山腹崩落など、わが滋賀県も被災した「台風 18 号」災害からの復旧について、災害復旧事業の早期実施を要請しながら、★被災者生活再建支援制度の見直し、★不通になっている信楽高原鉄道への新たな支援策の検討について、★土砂災害警戒区域の策定促進について…等、防災担当大臣らと議論しました。

「南海トラフ地震対策」および「首都直下地震対策」のための特別措置法の制定、国土の強靱化より、私たち国民の「生活」強靱化のための法律の制定のために、現在、検討と協議も進めています。

地震・津波・火山に豪雨・竜巻、土砂崩れなど、自然災害列島のわが国において、**経験を教訓として、インフラ整備への依存・偏重に陥らないよう、人命損失や経済停滞を防ぐ制度や組織づくりのために尽力・奮闘中**です！

昨日（10 月 31 日（木））には、赤坂御苑で行われた園遊会に、上京した妻と、参加させて頂きました。秋を感じさせる御苑の庭園にて、長嶋茂雄さんをはじめ、各界の有名な方々や地方の代表者の皆様も一緒に、天皇皇后両陛下のお心を賜る光栄な機会でした…。

私たちの日本国のために、引き続き、よりしっかりと、努め勤しむこと、改めて誓いました。



30 日（水）には、これまで検討してきた、タクシーの「サービス向上」「安心利用」を推進するための法律案を衆議院に提出しました。自民党と公明党と一緒に、三党で。

各党で、「国会改革」に向けた協議も始めました。総理大臣はじめ閣僚の出席ルールや、立法機能や危機管理の強化などが柱です。私たちが政権与党時代から提唱していた課題です。

当時の野党は協力してくれませんでした。私たちは「与党を経験した野党」「再び与党を目指す野党」として、建設的に参画してまいります。「国権の最高機関」「唯一の立法機関」の国会の権威はしっかりと保ちつつも、機能や生

産性を向上させるため、ルールづくりのための合意形成が実現するよう頑張ります！

「明日から三連休！」という方も多いのでは…？私は、この三日間、しっかり地元活動です！良い週末をお過ごし下さい。